

【校是】「報徳」～天地人の徳に報いるなり～

【学校教育目標】 ふるさとや命を大切に、笑顔あふれる学校づくり～自他を大切に、自ら「前進」できる子どもの育成～

「話を聴く力」と「心のコップ」～5月全校集会より～

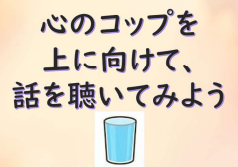


5月の学校集会では、子どもたちに「話を聴くこと」の大切さについてお話をしました。体育館に集まった子どもたちは、学年に関係なく、まっすぐにこちらを見つめ、静かに耳を傾けてくれました。その姿に、山東小の子どもたちの素直さと成長を強く感じました。

この日、子どもたちに伝えたのは「心のコップ」というお話です。心の中には、見えないコップが1つあって、その向きによって、話がどれくらい入るかが変わるといえるのです。コップが上を向いていれば、先生や友だちの言葉がスーッと入ってきます。反対に、ひっくり返っていたり、いっぱいになっていたりすると、どんなに大切な話でも入ってきません。

「話を聴く」というのは、自分の心のコップをそっと上に向けてのこと。

誰かのためではなく、「自分のため」になること。そんな話を、子どもたちにゆっくり伝えました。また、「聞く」と「聴く」の違いについても触れました。耳で聞くだけでなく、相手の気持ちを想像しながら「心で聴く」。この姿勢こそが、子どもたちの学びや人間関係を豊かにしていくと感じています。



山東小の今年のテーマは「前進」です。

「きのうの自分をちょっとだけこえること」「自分で進むこと」「みんなで進むこと」。

この3つの前進は、どれも「聴く力」と深くつながっています。

- ・「よし、聴こう」と自分で決めること。
- ・きのうより少しだけ長く聴けるようになること。
- ・みんなで静かに聴けるようになること。

これらはすべて、子どもたちの確かな前進です。



集会のあと、子どもたちが教室へ戻っていく姿を見ていると、「心のコップってこういうことか」「聴くって、自分のためなんだ」そんな気づきを胸に、少し背筋を伸ばして歩いているように見えました。

これからも、子どもたちが「自分を大切に、友だちを大切にしながら、前進していける学校」を、職員一同でつくっていきたいと思います。

ご家庭でも、子どもたちがどんな話を聴いてきたのか、どんな前進があったのか、ぜひ温かく声をかけていただければ幸いです。

甘くておいしいスイカとメロンをありがとうございました

前回に続き、5月19日(火)に JAかもと様より、スイカとメロンをいただきました。いただいたスイカは、20日(水)と21日(木)の給食で提供し、子どもたちは「おいしい。」「もう一つ食べたい。」と、満足そうな笑顔で味わっていました。メロンについては、数に限りがあったため、特別に6年生へ提供しました。6年生にとっても、思いがけないごほうびのような時間となり、喜びの声がたくさん聞かれました。



二度にわたり、子どもたちのために温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。地域の皆さまに支えていただいていることを、子どもたちも職員も改めて感じております。